

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1) 南姫公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2) 南姫公民館の使用許可に関すること。 (3) 使用料の徴収に関すること。 (4) 公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	年次報告書P204(利用率) 平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	95%未満～85%:3点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:30.6%(平均値比 106.6% = 30.6% ÷ 28.7%) 研修室1:27.0%(平均値比 88.5% = 27.0% ÷ 30.5%) 研修室2:28.4%(平均値比 93.4% = 28.4% ÷ 30.4%) 和室1:14.8%(平均値比 86.0% = 14.8% ÷ 17.2%) 和室2:14.8%(平均値比 85.5% = 14.8% ÷ 17.3%) 料理実習室:4.1%(平均値比 46.1% = 4.1% ÷ 8.9%)		4点	
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は一律4点とする。	平均値比(90.0%)=利用率(19.9%)÷22.1%(上記①適用)		85%未満:2～0点 ただし、コロナの影響を考慮する。	平均値比(%)=(R3年度実績)÷(前指定管理期間の実績平均値) 大ホール:8,752人(平均値比 66.7% = 8,752人 ÷ 13,125人) 研修室1:3,549人(平均値比 54.7% = 3,549人 ÷ 6,491人) 研修室2:3,158人(平均値比 53.5% = 3,158人 ÷ 5,898人) 和室1:1,658人(平均値比 46.5% = 1,658人 ÷ 3,563人) 和室2:1,675人(平均値比 46.0% = 1,675人 ÷ 3,645人) 料理実習室:284人(平均値比 31.2% = 284人 ÷ 911人)	4点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P205～208 ①南姫公民館文化祭 展示部門 ステージ部門(550人) ②親子ち4・3・6・3たじみプラン協賛事業の取り組み (1)集まれ!ちびっ子(共催:保健センター・南姫児童センター) 1)5月 チャーリーと英語で遊ぼう(親子7組18人) 2)6月 イモ掘り体験(親子9組) (2)地球村の大望遠鏡で夏の星空を見よう(26人) (3)たじみ子どもの権利の日企画・・・大ホール無料開放(10組)	仕様書以上 15点	①公民館文化祭では、コロナ対策としてギャラリーコーナーをステージに活用するなど工夫。令和2年度を上回る団体、地域住民の参加が得られている。 ②子どもをターゲットにした事業では、土曜日に開催することで参加の8割を親子が占め、効果的な企画となった。 ③星空観望会は天候に左右されてしまいがちな事業でありリスクもある。曇りの観察会となったが参加者が屋内でも楽しめるような講座が組まれている。 ④大ホール無料開放は、子どもの権利の日にちなんだ事業としてランドピアノや卓球など子どもたち自身が自由に過ごせる時間を提供し、目的に見合った企画とした。	13点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P208～217 ①スローライフ事業 (1)なかよし農園de菜っぱ会(32組52区画)、(2)じゃがいも編(60組78区画)、(3)玉ねぎ編(61組76区画) ②スローフード事業・伝承料理 (1)朴葉寿司(12名)、(2)こんにゃく作り(12名)、(3)おうち薬膳(3回43人)※新規 ③古典講座 (1)万葉・水曜コース(16回314人)、(2)万葉・金曜コース(16回290人)、(3)古事記(4回156人)、(4)平家物語(5回278人) ④交流事業 (1)みんなイキイキ ふうた広場(17回586人)、(2)行ったつもりのお伊勢参り(27人)※新規、(3)「ひめの朝時間」ラジオ体操(38回407人)、(4)囲碁将棋(38回193人)、(5)フォークソングコンサート(94人)、(6)もっとスマホseason5(3回29人) ⑤夏休みこども企画 夏野菜とパン作り(13人) ⑥ギャラリー一姫(19回 前年度対比158%)	期待以上 13点	①なかよし農園は時節柄の利点をPRL100%の稼働率で運用。家族単位の利用が多く、参加が100名程になることから、時間差開催など安全に開催。また活性化委員と菜っぱ会役員の協力をマネジメントし、円滑な運営に努めた。 ②国際中医薬膳師による本格薬膳料理講座は新規事業。高いニーズを受け2回目を開催。 ③万葉講座は10年目の記念講座を開催。古典講座全体では年間1,038人の受講者があり高い評価を得ている。 ④フォークコンサートは検温、消毒、分散入退場、マスク着用、拍手のみの応援、飛沫防止シートなど対策を講じて実施。ケーブルテレビでも全編放送され、地域のモチベーションにもつながる。 ⑤「行ったつもりのお伊勢参り」は遠出が難しい中で発案された講座。受講者には興味深い内容であり、好評を得た。	13点		
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P218 ①施設内清掃(基準・毎日)を実施。その他、職員による敷地内外の清掃除草と業者による刈込作業	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点			
		②保守・点検			年次報告書P218 ①消防設備保守点検(年2回) ②空調機器設備保守点検(年4回) ③消防用設備定期点検業務にて期限間近の消火器6本を交換	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		③保安・警備			年次報告書P219 ①機械警備業務を委託により実施(毎日)。 ②管理は業務委託。職員により朝夕夜間に館内を点検	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		④小規模修繕			年次報告書P219 ①小規模修繕 全7件 856,680円 (1)構造上困難と思われた大ホールの網戸の設置を、他の公民館を参考に実施。 (2)大ホール利用増に伴い、不具合のあった音響設備や机等を更新、整備。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P219 ①公共施設点検講習会の指導に基づき月2回と年2回の点検を実施。また朝夕2回の見回りを実施。 ②心肺蘇生法とAEDの操作方法を学び、万が一の際の具体的な動きなどを確認。 ③定期的な二酸化炭素濃度計での計測を行い、密の回避と換気に留意。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。				

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況（15点）	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P220 ①市のファイリングシステムに準じ、文書を鍵のかかるキャビネットで保管。 ②文書発信の際には、誤字や脱字、文章表現などのチェック体制を整えている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②環境への配慮			年次報告書P220 ①敷地内やなかよし農園では残渣処理用の堆肥箱を新しくし、化学肥料や農薬をできる限り使用しない自然農法を心がけている。 ②計画的に剪定計画を立てて樹木を伐採し、御嶽山の景観も確保。 ③1,700坪の敷地の管理を、ボランティアや地域の施設と連携を取り適切に管理。 ④敷地外清掃を行い、中学生や地域の方が安全に行き来できるよう配慮。 ⑤南姫中学生が育てた花を公民館で飾り、来館者の目を楽しませている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			年次報告書P220 ①車いすの動線の配慮をはじめ、手すりのぐらつきなどの点検も実施。移動式の手すりを利用者に合った位置に設置。 ②耳の遠い方や障がい者への情報の伝え方などに配慮した接遇に努めている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			年次報告書P220 ①長期間使用していない備品、故障している備品などを整理。処分や買い替えなどを所定の手続きに沿い実施。 ②コロナ禍における部屋の利用状態の変化に伴う備品の買い替えを実施。 ③備品台帳に写真を添えて、備品の所在をわかりやすく整理。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			年次報告書P220 ①事業の様子を広報媒体に掲載する際には、本人にその可否を確認。 ②公式LINEの安全な運用にあたり、スマホ講師にアドバイスを受けて実施。 ③個人情報記載資料は鍵のかかるキャビネットに保管。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	年次報告書P221 ①職員が出勤時に誤って公民館入口の門柵に車で衝突し、門柵が破損。けが人はなし。修理など適切に対応し原状復帰。	事故なし・対応に不備なし 0点	対応に不備なし。	0点
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	(収入)22,990,090÷(支出)23,007,764＝100%	105%未満～100% 4点	令和元年度104%、2年度96.5%であり、令和3年度は復調傾向。事業料収入が増加している。	4点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P222 ①アンケートBOXを常時設置し、講座終了時にはアンケートを実施。 ②令和2年度にコロナ禍で中止した新規事業「おうち薬膳講座」を、受講者の要望に応じて開講。好評につき2シーズン開催。講座内で回答しきれなかった質問への回答や、次回の開催予定の連絡等にLINEを使用。 ③コロナ禍で「リモートによる講座」のアンケートを実施。「対面での講座」を希望する声が多く、「行ったつもりのお伊勢参り」講座を企画し好評を得た。 ④天候に左右されるスローライフ事業について実施の可否の問い合わせが多いことを受け、メールによる簡潔な連絡手段を試行。 ⑤大ホールの机が「扱う際に重く、損傷もあり危険」との声を受け、更新。 ⑥ホームページの「ひめの朝時間」「菜っぱ会通信特設」へのアクセスがわからないという意見に対し、QRコードでアクセスできるよう対応。	期待以上 9点	①講座の開催に関する情報など受講者とのメール、LINEの活用により、連絡手段の効率化が図られている。 ②好評を得た講座について、受講者の期待に応じて再度企画するなど臨機応変な対応でニーズに応えている。 ③総じて、インターネットを積極的に駆使して情報提供、情報共有に努めている。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記 1 ～ 3 の評価に反映されないその他の成果ポイント（15点）	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P223 ①スローライフ事業の雨天の連絡用として始めたLINEが、その他の情報共有手段として役立つこととなった。 ②ホームページへのアクセスが多い日には20～30程あり、右肩上がりの傾向。イベントの日と土日にアクセスが多いことなどを分析し、情報発信に役立てている。 ③スローライフ事業は、農園の敷地の利用率が100%となり、それに伴い区画の整理や除草、水の管理、情報提供などを地域の各団体の方々の協力により運用。 ④大ホールの環境を集中的に改善し、前年度対比140%の利用拡大に繋がった。 (1)大ホールの机を軽量な可動式に順次更新、(2)音響設備の更新、(3)大規模修繕でスクリーンのストッパーを修繕。スクリーンを大型に更新、(4)網戸の設置 ⑤YouTubeによる公民館大会を職員で視聴。仕事に対する意識の高揚に繋がった。	期待以上 14点	①コロナ禍の閉そく感の中、必要とされる公民館となるための手段として、ホームページの充実やLINEの活用を充実。雨天の連絡をはじめ状況報告や各種情報を発信。 ②参加者が増えた農園の区画整理や除草、水の管理、指導、残渣処理施設新設など、円滑なマネージメントを実施。 ③大ホールの設備環境が整ったことを受け、音響の良さなどを訴え、利用増につなげた。 ④リモート研修により、社会の変化を理解しモチベーションを高めることに努めた。 ⑤令和2年度に続き臨時休館や時間短縮に翻弄されながら、安心安全な施設運営に努めた。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応（報告書類の提出以外）等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計86点
						全体的な評価 ①スローライフ、スローフードは当地ならではの。それに関連して農園の活用など独自の事業が運営されている。家族で参加できる貴重な事業として継続されることに期待する。 ②コロナ禍で新規事業も展開されており、まなびへの意欲が高い住民ニーズに応えようとする姿勢を評価する。 ③あきらめていた大ホールの網戸設置など環境改善に向けた努力が認められる。			極めて良好